

平成29年度 北海道滝川高等学校定時制課程 年度末反省会議資料(教務部)

項目番号	目標	本年度の具体的方策	評価平均	分掌平均	達成度評価			分掌・係としての達成度評価についての自己分析	達成のための取組方法の改善や開始時期について
					Aの個数	Bの個数	Cの個数		
1	教育課程の編成と改善の研究を図る。	定通併修3修制のあり方を探る。	3.2	3.5	7	3	0	第1回校内研修会で「変更なし」との意見が多かった。3修制についての研修を行い、共通理解を図ることができた。	次年度以降は次期学習指導要領をふまえた教育課程の編成を深めたい。教育課程の変更に合わせて実状に合った内容にしていきたい。
2	個に応じた基礎学力の定着を図る。	基礎学力講座を実施し、個々の基礎学力を確立する。	3.5		8	2	0	継続した取り組みができ、提出率も昨年度に比べ向上した。生徒の実態に合った内容、量を検討し実施した。 回収率(H28→H29): 全体29%→53%、国31%→56%、数27%→52%、	次年度は英・数・国の教科と連動した取り組みを検討してみたい。
3		「学習の評価表」の有効利用と改善を図る。	3.3		6	4	0	生徒の授業への取り組み評価、授業評価をとることで、学習活動の実態を把握するのに役立てた。	評価内容を実態にあわせ検討していく。
4		学力向上講座に取り組みながら、進路や資格取得を意識させ、自己能力を高める。	3.5		9	1	0	資格取得に向けて効果があったと思う。就職者向けの一般教養コースの新設が効果的だった。	学力向上講座をより充実したものになるように検討する。
5		「学習の評価表」をデータ化し、授業改善の基礎資料とする。	3.3		7	3	0	生徒の評価をデータ化して、授業改善に生かすことができた。前期分はまとめ全体に提示した。年間分もまとめ結果を示したい。	次年度以降も継続した取り組みを行いたい。資料として蓄積していきたい。今後も各教科のご協力をお願いしたい。
6	学習指導の工夫、改善を図る。	教務支援システムを円滑に活用できるようにマニュアルの更新を行っていく。	3.7		8	2	0	マニュアルのおかげでスムーズな入力ができる。特に指導要録に係わる部分を全日制と文言の統一をはかった。一覧表の出力方法に不完全な部分があるので整備したい。	年度初めにマニュアルの更新をはかりたい。随時更新し、わかりやすいマニュアルを作成していく。
7		時間割の編成に柔軟性を持たせることで、生徒の実態に合わせた授業展開の工夫を行う。	3.7		8	2	0	先生方のおかげで運用することができた。	年休については、各自で変更したものを係に連絡してもらえるとありがたい。次年度もご協力お願いします。
その他、分掌として他の分掌や管理職に求める事項等									